

2013年度「地域における男女共同参画に関する研修事業」
 特定非営利活動法人全国女性会館協議会／男女共同参画センター横浜南
 <事業報告書>

事業名称	公開講座&支援者研修 若い単身女性の自立支援　－講座・就労体験と地域連携
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年12月発行の『“ガールズ”自立支援ハンドブック』では、若年女性支援の必要性和プログラム等具体的な取組について伝えた。本研修では、ハンドブックの内容をふまえつつ、一步踏み込んで困難を抱える利用者像にせまり、今後の問題解決のために事例報告を行い、共有する。 ・横浜市の男女共同参画センターでは、全国女性会館協議会の支援により「ガールズ編 しごと準備講座」修了者200人、「めぐカフェ」就労体験者60人の追跡調査を実施。修了者の声をまとめた最新の調査結果とともに、支援の成果と課題を考える。 ・一機関でできる支援には限りがあり、地域に根差した人や機関とのつながりが心強い味方になる。若者支援機関、NPO、行政など、地域の力で若い単身女性の支援の輪が広がる例も報告する。
開催日時	2014年 2月23日(日) 13:30～16:00(公開講座) 2月24日(月) 10:00～16:00(支援者研修)
対 象	女性関連施設職員、男女共同参画施策担当者、若者支援や女性支援に携わる官民団体スタッフ、福祉保健業務従事者、就労支援従事者 等
内 容	<p><u>2月23日(日) 公開講座</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査報告 「“ガールズ” 編しごと準備講座4年間・200人のその後の調査から」 植野ルナ(公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会職員) ・講演「若年女性の貧困　－労働と家庭からの排除」 山口恵子さん(東京学芸大学准教授) ・ワークショップ　支援の悩みを語り合う+課題の抽出作業 <p><u>2月24日(月) 支援者研修</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告「横浜市における中間的就労検討会の取組2013」 綿引幸代さん(特定非営利活動法人ユースポート横浜理事長) ・報告「就労体験事業と地域連携　－3年間・60人のその後の課題」 新堀由美子(男女共同参画センター横浜南) ・ガールズ編しごと準備講座利用者による報告(2名) 何が転機で内なる力が出てきて、今どこにいるか。

	<p>支援機関や支援者に望むことは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ グループ分けを実施し、若年女性の就労支援に向け話し合う。 参加者活動紹介（横浜市内の障害者就労支援、高校キャリアセンター、児童養護施設退所後の若者支援団体等の専門分野） ・講評 桜井陽子さん（特定非営利活動法人全国女性会館協議会 理事長）
参加機関名	<p><女性関連施設></p> <p>仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台 世田谷区立男女共同参画センター らぷらす 男女共同参画センター横浜 フォーラム 男女共同参画センター横浜南 フォーラム南太田 名古屋市男女平等参画推進センター つながれっと名古屋 とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ 尼崎市立女性勤労婦人センター</p> <p><若者支援団体></p> <p>かながわ若者支援センター よこはま若者サポートステーション NPO法人ブリッジフォースマイル 横浜YWCA</p> <p><各種支援団体></p> <p>寿町勤労者福祉協会 発達障害サポートネットLINK 一般社団法人ペガサス（障害者雇用）</p>
参加人数	2月23日 24人 2月24日 19人
参加者感想	別紙のとおり
主催者評価	<p>若年無業女性の就労支援事業の現場スタッフによる最新の調査、実践報告と、支援の効果や地域連携の重要性について考える2日間であった。</p> <p>テーマに関心のある、あるいは既に支援事業を実施している女性関連施設職員が全国から集まった。開催地である横浜において各分野で活動する団体や教育機関、マスコミ関係者の参加もあり、多様な領域の現場スタッフが、熱心かつ活発な質疑、討議を行った。</p> <p>1日目は、“ガールズ”（若年無業女性）支援事業修了者の追跡調査報告と若年女性の貧困問題の講演が行われ、特に調査結果への関心の高さがうかがえた。</p> <p>2日目は、横浜市内の民間団体による「中間的就労検討会」の取組、男</p>

女共同参画センターの就労体験事業の最新報告が行われ、若年層の就労支援に地域として取り組む意味や効果が共有された。

アンケートの反響が大きかったのは、二人の講座利用者による体験報告であった。女性のライフ・ストーリーとしての生きづらさ、働きづらさに迫る内容であり、各種支援事業を通じた利用者との信頼関係があって初めてできる試みだったと評価したい。

後半のグループディスカッションでは、支援現場が抱える個別の事情や担当者としての迷いや課題を出し合い、参加者同士がエンパワメントされる時間となった。

講師や報告者はもとより、テーマに深い関心を持つ参加者が熱心に研修に臨み、課題や展望を共有したことが、100%の満足度につながったと感じる。

現代社会では数の上でもマイノリティである若年女性。適切な支援によって彼女らが持てる力を発揮できるよう、今後も地域や社会への発信、全国の女性関連施設のつながりを保ちつつ、取り組みを続けたい。

<参加者の感想>

- ・ 調査結果報告がわかりやすかった。横浜市調査との比較で、講座受講者である若年女性像が浮き彫りになり興味深かった。1日目の講演にあった「出入り自由な“寄り場”があちこちにたくさんあるとよい」に共感した。
- ・ 新しい試みとして注目していたガールズ支援事業の報告を興味深く伺いました。
- ・ 女性の貧困に関心があり参加しましたが、ガールズ支援事業の取組についても知ることができ、とても勉強になりました。潜在的に貧困状態にある人や、貧困リスクの高い人に対する政策支援も少ない中、有効な支援を考えていくことが難しいことを改めて感じました。
- ・ ガールズ修了者のお話がとても印象的でした。「相談してよかった」というコメントに、支援の必要性をますます感じました。他機関の方と共有できる課題があり、横の広がりが今後重要とますます認識いたしました。
- ・ ご報告が大変にわかりやすく、とても勉強になったのですが、講座修了者のおふたりのお話が圧巻でした、これまでどういう方たちに支援が届いていなかったのかがクリアになるように思いました。見えにくい、なきものにされるプレッシャーを社会から受け続けている若い女性たちの存在とその声を見えるものにされている取組にみに、これからも学ばせていただきたいです。
- ・ いろいろな方のお話が、非常に内容濃く具体的で自分の考えをまとめる上でもとても参考になりました。職場に戻り、きいたこと、感じたことを周りにもしっかりと伝えて仕事を進めたいと思います。
- ・ 有意義な研修をありがとうございました。支援施設をまとめてくれる、また、ひとりひとりに合ったジョブトレーニング先をコーディネートしてくれる中間支援施設が本当に実現してほしいと切に思いました。支援者の研修に参加すると、たくさんの気づき、ヒント、また同じ悩みの共有などたくさん得るものがあります。
- ・ 4年間の成果、連携など大変興味深かったです。目からウロコ。生活困窮者自立支援法ができて各自治体が義務実施するので、それをどういいものにするのかも問われているようだと思いました。
- ・ 先進事例の知恵をいただき、できることをできるところから始めようと思います。
- ・ いち早くこの問題に取り組んでこられて、その後の調査のことを聞かせていただき、今後自分たちで進めていくにあたり参考になる事ばかりでした。見えてきた課題や地域連携の重要性も勉強になりました。これまで実際に関わっている方々とお話する場がなかったため、とても良い機会をいただきました。また、受講者のおふたりの話はとても響きました。よく話してくださったと思います、ありがとうございました。
- ・ ありがとうございました。来てよかったです。出口の必要性痛感しました。ネットワークを作ること、心がけていきます。